

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Hao		公表日		2026年 1月 24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		1Fと2Fに分けて療育を行っている為、少人数制を取りやすい		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		法律に定められた人数で行っている療育前後での変動はあるが、適切にかかわりをもてる人数で取る組んでいる		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	部屋ごとにルールや役割があるが表記されているところが少ない 刺激物が少ない	職員間で共通認識を持つ	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		スタッフ、療育終了時には利用者とともに清掃を行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		部屋数が多いため個別空間を作りやすい		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	3	PDCAサイクルは行っているが設定や振り返りを行う機会を取っていない	振り返りを行う機会を今後は設けていく	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	日々行っている 年1回の参観日くらいで定期的なフィードバックをいただく機会が少ない	保護者との直接的なやり取りの機会をスタッフ間で考えていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員間で意見交流は頻繁に行われている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		PBS研修や本部職員との関わりもあり行うことができている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	個人的な共有のみで職員課の共有は少ない		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HUGにて公開 職員間で考え、相談をおこなっている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		アセスメントを職員間で共有しつつ作成を行っている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		方針や共有の検討を行っている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	今後も職員間で共有してまいります		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	個人的な感覚や場面でのアセスメントが多い	事業所としての指標を考えていく	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		検討を行いつつ、目標設定をすることができた	未回答 1	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	3	基本は児発管が立案しているが話し合い検討を行っている	未回答 1	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	基本的に流れは固定しがちだが内容は変動している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どもの様子によっては個別に取り出し支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		定期的に行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		毎日の内容と個別のことについて共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		2日以内に記録を作成を行うように共有されている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に1度行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5		様々な場面で含むように計画されている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		子どもが考えて自己決定するプログラムを計画している	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		基本的に児発管が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		現在、整備を整えている段階	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	事業所内で確認を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	特に行っていないが同会社内の事業所とは密にできている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	今後行ってまいります	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	特に機会を設けられていない	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	今後行ってまいります（年1回）	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	今後の課題	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		お迎えに来られた際に伝えられるように共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		担当者が行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		管理者が行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		契約時に本人の確認や聞き取りを行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		確認をHUGを通じて行っている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		頻度は少なくとも家族でのイベントを開催している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		管理者や全体で共有し、即時対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		HUGを通じて	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		基準を設けて共有し守るように声かけを行っている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		子どもの様子や支援方法など共有している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	現在、特に見られないがボランティアで年に1回参加することがある。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	年に数回行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		年に1回テーマを決めて確認を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	子どもの情報として共有している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	アレルギーや量について共有できているが適応適応できているかは定かではない	定期的な見直しの機会を持つ
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	年に数度、確認が行われている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		手引きとして配付している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		日々、確認して月末に検討を行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修を行い、確認しているがレベル確認は未設定である	事業所としての指標を考えていく
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	2	保護者への説明は行っているが記載については不明である	